

国連ミレニアム開発目標報告



UNITED NATIONS

2015

7月6日米国東部夏時間(グリニッジ標準時間-4)
午前10時15分報道解禁

メッセージ: ミレニアム開発目標(MDGs)と国連ミレニアム開発目標報告

I. 見出しとなる重要なメッセージ

- ▶ 国連ミレニアム開発目標報告 2015 のデータおよび分析が示すところによれば、焦点を定めた介入、堅実な戦略、十分なリソース、そして政治的意志があれば、最貧国であってもかつてないほどに飛躍的な改善を果たすことができます。
- ▶ MDGs の達成に向けて非常に大きな進展が見られました。世界の貧困は減少し続けています。小学校に通える子どもが以前より増えています。幼児死亡率は劇的に減少しました。安全な飲料水へのアクセスは大きく広がりました。マラリア、HIV/エイズ、そして結核のまん延防止に向けた投資は何百万人もの命を救いました。
- ▶ MDGs は、目標を設定することで、何百万人もの人々を貧困から救い、女性の地位を向上させ、健康と幸福を改善し、そしてより良い生活を送るために多くの新しい機会を提供することができることを証明しています。
- ▶ しかし、私たちは、最も貧しく不安定な状況にある人々を、誰も置き去りにすることがないようにさらに力を尽くす必要があります。
- ▶ 気候変動や環境の悪化は達成した進歩を損なうものであり、その被害に最も苦しむのは貧困層です。
- ▶ 紛争は依然として人間開発の最大の脅威であり、MDGs の達成を妨げる最大の障壁です。
- ▶ 世界のリーダーたちは、MDGs を引き継ぐものとして、持続可能性を実現するための意欲的な長期アジェンダを要請しています。MDG の成功を基盤とする新たな世界目標は、差し迫った持続可能な開発課題にも取り組むこととなります。
- ▶ 新しい目標を世界のすべての人々に適用することによって、誰一人として置き去りにせず、あらゆる形の貧困をなくすためさらに大きく前進することができます。

II. メッセージ/それぞれの目標の要点

目標 1—貧困と飢餓

- ▶ ミレニアム開発目標の支えと実施により、世界の歴史上最も成功した貧困撲滅運動が実現されました。その成果として 1990 年から 2015 年の間に、極度の貧困の中に暮らす人々の絶対数が半数以下になりました。
- ▶ MDGs によって開発途上地域の栄養不良人口の割合は 1990 年以降ほぼ半減しました。

目標 2—初等教育の普遍化

- ▶ サハラ以南アフリカでは MDGs の実施により、小学校の実質就学率が 20% 増加しました。この数値は増加率が 8% だった 1990 年から 2000 年に対して、達成度が 12% 上がったことを示します。



- ▶ 小学校就学年齢の未就学児の数は 2000 年の 1 億人から 2015 年には 5,700 万人となり、MDGs は画期的な成功をおさめています。
- ▶ MDGs のによって小学校に入学する子どもが増え、未就学児童の数が大幅に減少した結果、世界中で青少年の識字率が顕著に向上しています。

目標 3 — ジェンダーの平等と女性の地位向上

- ▶ 今や世界中の議会の女性議員数が増え、非農業部門で働く女性の比率も高くなりました。
- ▶ 教育におけるジェンダーの平等はかなりの成果をあげています。例えば、南アジアでは、小学校への入学者の割合が男子 100 人に対し女子は 74 人だった 1990 年と比較し、今では女子の入学者が男子をわずかに上回っています。
- ▶ MDGs によって学校に通う女子が以前より増えました。
- ▶ MDGs は女性と男性の双方にとって不安定な雇用形態を著しく減少させる成果をあげました。

目標 4 — 幼児の死亡率

- ▶ MDGs は幼児死亡率の削減において最大の成功をおさめました。1990 年から 2015 年の間に 5 歳未満の乳幼児死亡率の低下は世界全体で 3 倍になりました。

目標 5 — 妊産婦の健康

- ▶ MDGs によって妊娠中や出産後に必要な支援や治療を受けることのできる母親が増えています。妊産婦死亡率は世界全体でほぼ半減するという大幅な低下を示しており、今日では世界全体で 4 分の 3 の出産が熟練医療従事者の介助を受けています。

目標 6 — HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病

- ▶ HIV 感染率の 40%低下、抗レトロウイルス療法の広範な普及、マラリアによる死亡数ならびに発生率の大幅な減少、および結核治療の優れた成果は、MDGs が疾病の克服に力を発揮していることを証明しています。

目標 7 — 環境の持続可能性

- ▶ 国連は飲料水と衛生施設へのアクセスを人間の基本的権利として捉えています。MDGs は世界の人口の 90%以上に飲料水へのアクセスを可能にしました。
- ▶ 人は誰でも安全な環境に生きる権利を有しています。MDGs が始めたオゾン層保護の取組は気候変動の緩和およびオゾン層の回復に貢献しています。オゾン層は今世紀半ばまでには回復する見通しです。

目標 8 — 開発のためのグローバル・パートナーシップ

- ▶ 先進国による政府開発援助（ODA）は 2000 年から 2014 年の間に実質ベースで 66%増加しました。